



地震・津波対応訓練

Safety

安全への取り組み

安全報告書 安全への取り組みの報告内容は、鉄道事業法で公表が義務付けられている「安全報告書」を兼ねています。

安心して鉄道をご利用いただくために、当社では安全輸送の完遂を経営の基底とし、さまざまな取り組みを行っています。安全統括管理者のもと、安全管理の体制を整備し、教育・訓練・技術継承など従業員を対象とした取り組みや、安全を確保するための鉄道施設や車両の整備などを日々行っています。

KEIHAN
Corporate Social
Responsibility
Report 2012

安全統括管理者ごあいさつ

当社は、平成18年に安全マネジメント制度を導入して6年目を迎えました。安全基本方針の第一項目に、「安全最優先」を掲げております。当社は、この「安全最優先」の基本方針の下に、社員一人ひとりがプロフェッショナルとしての誇りを持ち、「質の高い安全」を手にするため、PDCAサイクルで常に安全管理体制の見直しを行い、お客さまが安心してご利用できる鉄道を目指してきました。

その結果、平成23年9月に行われた国土交通省による第4回運輸安全マネジメント評価では、当社における安全管理体制の構築と改善に関する取り組みについて、「経営トップ及び安全統括管理者のリーダーシップの下、輸送の安全確保に関する各種取組を推進している」と高い評価を得ることができました。

平成23年度は、運転・駅・車両・踏切などのハード面での安全対策、新型ATSの開発に加えて新たな取り組みも行いました。東日本大震災を踏まえた津波を伴う大規模地震発生時でのお客さまの避難誘導並びに運転取扱いなど諸課題の検討、その検討した内容を検証するための地震訓練、自治体・自衛隊など9機関と協力した総合的なテロ訓練などです。

ヒューマンエラー対策に関しては、社内の風通しがよく、意見が出し合える職場風土がなくては、事故の未然防止はできません。私自身も現場へ行き、第一線の社員と安全に関して意見交換をしています。

今後も引き続き、「質の高い安全」を目指して弛まぬ努力を重ね、お客さまに安全で快適なサービスを提供し、お客さまが安心してご利用いただけるよう安全風土の更なる醸成を図ってまいります。



安全統括管理者
取締役専務執行役員
脇 博一



NBCテロ対策総合訓練



トップ巡視